

名によつてその世次を別つときは、初代を宗圓、二代を宗玄、三代を智閑、四代を永晃、五代を善良、六代を永久、七代を永教、八代を永壽といひ、九代長久に至つて大に名を顯した。長久初名虎次郎、後左衛門・五郎右衛門、世に名人と稱せられ、文政末年に歿。次代九左衛門正久を經、次の九左衛門正久も亦手腕精妙で、明治二年に歿した。

ヨコギタ 横北 江沼郡四十九院谷に屬する部落。江沼志稿に、『横江。文政七年嶺山崩し、時、横穴の内より骸骨を掘出事有。此内に異形の土器有り。色青し。骸骨・器とも山頂に埋む。』といひ、江沼郡雜記には、『横北村領の山を子細ありて崩すことありしに、古代の墓と見えて其様子甚だ丁寧なり。急なる山の半腹より横穴に長く掘り行き、奥を六七尺餘も丸く石に刻み、石郭の形をなせり。如此所四五ヶ所もありて、其細工の美なること一朝一夕の事にあらず。』として、人骨・刀劍・横瓮等を出したることを叙する。

ヨコギタイシ 横北石 江沼郡横北から産する石材。石英粗面岩質凝灰岩で、灰白色石基中に草色物質の斑紋があり、蛙目で硬い。

ヨコギタグチ 横北口 江沼郡横北の方面をいふ。朝倉義景が年不詳十月九日附で、その臣横山新四郎に與へた感狀に、『去月四日於加賀國江沼郡横北口合戦』とあり、又同日附野村七郎五郎への感狀にも同様の語がある。

ヨコギタゴウ 横北郷 江沼郡に在つた。陸涼軒日録長享二年九月廿六日に、『林光院加賀國横北郷爲本主齋藤御園致訴訟之由有之云々。』など多く見える。江沼志稿に、横北から大土までを横北郷といふとある。

ヨコギタシヨウ 横北庄 江沼郡に在つた。永享元年日記に、林光院領加賀國横北庄とある。別項に横北郷といふも之に同じい。

ヨコギタシラヤマジンジャ 横北白山神社 江沼郡横北に在る。式内等舊社記に、『横北白山神社。横北村鎮座。横北一郷之惣社也。』とある。茨愷紀聞には横北社とし、今は白山神社というてゐる。

ヨコジ 横地 鳳至郡川原田郷に屬する部落。

ヨコジコヘエ 横地小兵衛 越中守山に於いて前田利長に仕へ、二百石を領した。子孫相繼いで藩に仕へる。

ヨコジセントロウ 横地善九郎 前田利家に仕へて百三十石を領した。子孫藩に世襲する。

ヨコジトウスケ 横地藤助 初めて前田利家に仕へた。その子孫藩に世襲する。

ヨコジササミチ 横地正路 通稱小傳次・伊左衛門。正徳五年父長十郎政種の遺知二百石を襲ぎ、組外に列し、會所奉行となり、天文五年繁姫附物頭並として百石を加へられ、延享四年六十四歳を以て歿した。

ヨコズミタニ 横住谷 石川郡堂の内にあつて、古へ横住角左衛門が居住した所といふ。

ヨコタ 横田 鹿島郡熊木院に屬する部落。久麻加夫都阿良加志比古神社藏貞三年の立券狀に横田里と見えるものは是である。

ヨコタニ 横谷 タコ 河北郡湯涌郷に屬する部落。

ヨコタニタウゲ 横谷峠 ヨコタン 河北郡横谷の部落から、越中西礪波郡に入る國界の峠。高さ五二〇米。

ヨコタニダキ 横谷瀧 石川郡板尾領山に在る。高さ三〇米許。昔この瀧の邊に不動尊の石像があつたとも、又は不動明王が姿を現したとも傳へて、不動瀧と稱することもある。

ヨコツツミチヨウ 横堤町 金澤の舊町名。元祿九年の本町肝煎裁許附に、上堤町・下堤町・横堤町とあつて、藩政中は本町であつた。十間町の西に續いた今の下堤町の一部である。

ヨコテンマチ 横傳馬町 金澤の町名。元祿九年地子町肝煎裁許附に、横傳馬町と見えるのは、今の横傳馬町・裏傳馬町である。

ヨコハマ 横濱 河北郡井上庄に屬する部落。

ヨコハマシゲモト 横濱茂元 通稱半齋。初め田中左兵衛。寛永十九年前田利常に仕へて、俸五十人扶持・百五十俵を受け、正保三年歿。子孫相繼いで藩に仕へる。

ヨコハマナミエ 横濱波江 玄英の子。領千五十石。天保六年六月六日行歩に出たまゝ歸らなかつたので、所々を尋ねたに江沼郡那谷附近に發見したが、應答凡べて明瞭を缺いたので、八月十一日知行を召放され、一門御預になつた。

ヨコハマハルヒテ 横濱玄英 通稱次郎・浪江那百助。初め大小將・表小將・奥小將に任じ、寶曆三年養父勳兵衛の遺知五百五十石を襲ぎ、明和五年御使番から次第に進んで定番頭並に至り、寛政七年五百石を加へ、人持末席に列し、諸職を經、文化三年四月廿三日隱居して心齋と號し、料知三百石を受けた。

ヨコハマヤゴンベ 横濱屋權兵衛 金澤笠舞穴原町の住人。享保九年に生まれ、文化

十年九十歳の時、藩侯から養老扶持米を賜はり、その後尙壯健であつたが、天保七年十二月十五日百十三歳を以て病歿した。

ヨコマクラ 横枕 河北郡井上庄に屬する部落。

ヨコマチ 横町 金澤の舊町名。野町一丁目から蛤坂祇園社に出る間の小路で、正徳頃までは牛馬の通行をすべら禁じた細い路であつた。今の成學寺の地に玉泉寺のあつた時、その横町であつたのである。

ヨコマチ 横町 鹿島郡金丸の内の小字。

ヨコマヘタウゲ 横前峠 ヨコイ 鳳至郡當日のうち蓮華坊から、當日のうち龜田原に至る峠。

ヨコミ 横見 鹿島郡熊木院に屬する部落。

ヨコミネタウゲ 横峰峠 ヨコムネ 羽咋郡下河合・大田間から分岐して、興津の部落に至る峠。

ヨコメ 横目 御横目の職は延寶五年三月十六日初めて小泉勘十郎重長・半田權佐長方・加須屋傳兵衛玄深・井上久太郎長貞・中村久左衛門・原三郎左衛門正直の命ぜられたを初とし、役料百五十石を受け、御使番の上に列し、八年十一月廿八日大横目兼帯を命ぜられ、爾後大横目のことも可るやうになつた。これより人數不定で連綿したが、享保元年七月七日横井甚五左衛門の轉役に及んで一旦斷絶。十四年九月廿一日樽原五左衛門長頼・小寺市郎左衛門達路・津田五左衛門盛昌、十五年三月十三日樋口次郎右衛門兼備が命ぜられ、元文二年十二月廿五日津田・樋口の轉役に及んで復中絶し、その後天明二年十二月廿八日行山由一郎が命ぜられたが、三年六月八

十年九十歳の時、藩侯から養老扶持米を賜はり、その後尙壯健であつたが、天保七年十二月十五日百十三歳を以て病歿した。

十年九十歳の時、藩侯から養老扶持米を賜はり、その後尙壯健であつたが、天保七年十二月十五日百十三歳を以て病歿した。

十年九十歳の時、藩侯から養老扶持米を賜はり、その後尙壯健であつたが、天保七年十二月十五日百十三歳を以て病歿した。

十年九十歳の時、藩侯から養老扶持米を賜はり、その後尙壯健であつたが、天保七年十二月十五日百十三歳を以て病歿した。

十年九十歳の時、藩侯から養老扶持米を賜はり、その後尙壯健であつたが、天保七年十二月十五日百十三歳を以て病歿した。